

岩盤ボーリング柱状図

調査名 一般県道 竹原吉名線 道路改良事業に伴う業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 道路 掘削・掘削のり面

ボーリング名	B-5	調査位置	一般県道 竹原吉名線 道路改良事業に伴う業務委託	北緯	34° 19' 13.0609"				
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所		調査期間	令和3年 1月21日～ 令和3年 1月27日	東経	132° 52' 26.5381"			
調査業者名	主任技師		現場代理人	コ定者		ボーリング責任者			
孔口標高	TP 53.36m	角	180° 上 90° 下 0°	方	0°北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	24° 鉛直 水平 0° 90°	使用機種	試錐機 東邦D1
総削孔長	24.00m	度	0°	向		エンジン	ヤンマーTF90V-E	ポンプ	共立HP173

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名 (模倣)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬さ	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	R Q D [%]	記事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験		位置試験	室内試験	削孔状況	排水量 (L/分)
																深度 - N 値	試験				
1	52.56	0.80	流紋岩質凝灰岩	赤褐 w5 h4 E VII d							0.05 (100)	0.05 (100)	0.05 (100)	GL-0.05m以浅は表土。 GL-0.8m以浅は赤褐色を帯びる。 岩級区分: DL (砂質土)		1.15 9	300				
2			流紋岩質凝灰岩	淡緑灰褐							0.05 (100)	0.05 (100)	0.05 (100)			1.45 9	300				
3			流紋岩質凝灰岩	淡緑灰							0.05 (100)	0.05 (100)	0.05 (100)			2.15 11	300				
4			流紋岩質凝灰岩	淡緑灰							0.05 (100)	0.05 (100)	0.05 (100)			2.45 9	300				
5			流紋岩質凝灰岩	淡緑灰							0.05 (100)	0.05 (100)	0.05 (100)			3.15 10	300				
6			流紋岩質凝灰岩	淡緑灰							0.05 (100)	0.05 (100)	0.05 (100)			3.45 9	300				
7			流紋岩質凝灰岩	淡緑灰							0.05 (100)	0.05 (100)	0.05 (100)	岩組織が認められる。 GL-5.8m~9.0m付近は指圧で容易に砕け、微細砂~細砂状を呈する。 4.8m以浅は所々亀裂面に沿って淡褐灰~暗褐灰色を呈する。 GL-5.55m~6.90m付近は硬質な角礫状コアを呈する。 GL-9.0m~13.0m付近は中~粗砂主体となり、硬質な鉱物粒子が混在する。岩級区分: DL (砂質土)		4.15 9	300	4.15			
8			流紋岩質凝灰岩	淡緑灰							0.05 (100)	0.05 (100)	0.05 (100)			4.45 9	300				
9			流紋岩質凝灰岩	淡緑灰							0.05 (100)	0.05 (100)	0.05 (100)			5.15 9	300				
10			流紋岩質凝灰岩	淡緑灰							0.05 (100)	0.05 (100)	0.05 (100)			5.45 9	300				
11			流紋岩質凝灰岩	淡緑灰							0.05 (100)	0.05 (100)	0.05 (100)			6.15 12	300				
12			流紋岩質凝灰岩	淡緑灰							0.05 (100)	0.05 (100)	0.05 (100)			6.45 9	300				
13	40.36	13.00	流紋岩質凝灰岩	淡緑灰 w4 h3 E VI d D							0.05 (100)	0.05 (100)	0.05 (100)	指圧より容易に砕け、中~粗砂状を呈する。 硬質な角礫あり。岩級区分: DM (砂質土)		7.15 11	300				
14	39.36	14.00	流紋岩質凝灰岩	淡緑灰							0.05 (100)	0.05 (100)	0.05 (100)			7.45 9	300				
15			流紋岩質凝灰岩	淡緑灰							0.05 (100)	0.05 (100)	0.05 (100)			8.15 12	300				
16			流紋岩質凝灰岩	暗緑灰							0.05 (100)	0.05 (100)	0.05 (100)	GL-14.0m~15.3mは指圧より容易に砕け、中~粗砂状を呈する。 所々に低角度の亀裂が明瞭にみられる。 GL-15.3m~16.9mは指圧でようやく砕け、凝混しり粗砂~細砂状を呈する。 岩級区分: DH (軟岩I)		8.45 9	300				
17	36.46	16.90	流紋岩質凝灰岩	暗緑灰							0.05 (100)	0.05 (100)	0.05 (100)			9.15 14	300				
18			流紋岩質凝灰岩	暗緑灰							0.05 (100)	0.05 (100)	0.05 (100)	岩片~短棒状コア主体。 ハンマー軽打で砕けるものが多いが、一部硬質な角礫状となる。 20.0~20.3m付近は灰褐色を呈しやや脆く、中~粗砂状に砕ける。 20.3~20.9mは短棒状であるが、ハンマー軽打で割れる。 20.9m付近は局部的に褐色を帯び、脆い。 岩級区分: CL (軟岩I)		9.45 9	300				
19			流紋岩質凝灰岩	暗緑褐灰							0.05 (100)	0.05 (100)	0.05 (100)			10.15 17	300				
20			流紋岩質凝灰岩	暗緑褐灰							0.05 (100)	0.05 (100)	0.05 (100)			10.45 9	300				
21	32.46	20.90	流紋岩質凝灰岩	暗緑 w2 h2 B II b CM							0.05 (100)	0.05 (100)	0.05 (100)	コアは硬質となり、ハンマー軽打でようやく割れる程度となる。 短棒状~棒状を呈し、コア肌はやや粗いが比較的滑らかな部分あり。 所々に潜在亀裂が認められる。亀裂面は褐色を帯びる。 岩級区分: CM (軟岩II)		10.75 10	300				
22			流紋岩質凝灰岩	暗緑							0.05 (100)	0.05 (100)	0.05 (100)			11.45 9	300				
23			流紋岩質凝灰岩	暗緑							0.05 (100)	0.05 (100)	0.05 (100)			11.75 17	300				
24	29.36	24.00	流紋岩質凝灰岩	暗緑							0.05 (100)	0.05 (100)	0.05 (100)			12.15 26	300				
25			流紋岩質凝灰岩	暗緑							0.05 (100)	0.05 (100)	0.05 (100)			12.45 9	300				
26			流紋岩質凝灰岩	暗緑							0.05 (100)	0.05 (100)	0.05 (100)			12.75 36	300				

